

# 地域経済を冷やし 民間の賃下げにもつながる

## 職員給与のさらなる 引き下げには反対

11月29日に開かれた臨時議会で日本共産党は、市職員の給与のさらなる引き下げに反対の態度をとりました。福田明議員の反対討論を紹介します。

議案102号「北茨城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」について、反対の立場から討論します。

この条例の主な改正内容は、職員給与を0・3%減額する、扶養手当を月

500円減額する、期末手当を0・05カ月増額する、という3点で、これをトータルすると若干の減額になります。

市職員の給与は、すでに期末手当が0・4カ月減額されており、しかもその減額の期限は「財政が好転するまでの当分の期間」というだけで明確にされていません。ですから、ひきつづき来年度も減額される可能性があるわけで、そのことを市長も否定していません。そうしたなかで、これ

以上の職員給与の減額につながる今回の条例改正には反対するものです。

地域の経済に目をやる、と、大津のカスミストアがすでに撤退し、磯原にあるジャスコも来春には撤退するといわれているように大変な事態です。こうしたなかで職員給与の減額は、いつそう地域経済を冷や込ませる一因にならざるをえません。

また、公務員の賃金引下げは、民間労働者の賃下げにも利用され、国民全体の賃金引下げの悪循環を引き起こす要因にもなりかねません。これらの点も含めて今回の条例に反対するものです。

### 特別職の増額分は返上を

なお、今回の条例改正にともなう、市長はじめ役員および議員は期末手当が逆に0・05カ月分の増額となります。この増額分の予算を返上し、市民の暮らしにまわすべきであると主張するものです。



## 雨情の里音楽祭2005

11月27日、ふれあいセンターにおいて「雨情の里音楽祭2005」が開かれました。市民の手づくりとなって3回目となる今年は、雨

情没後60年を記念して、創作音楽劇「英吉と仔狸ぼんちゃん」を上演しました。少年期の雨情と仔狸との友情を軸に、劇と合唱との組み合わせで進行。幕間に仔狸に扮した子どもたちの可愛らしい仕草があり、会場は温かい雰囲気に包まれました。



舞台、舞台装置、照明、脚本、演出、出演者、裏方、合唱、楽器・太鼓演奏、ほぼすべてが市民の手作りです。

## 12月定例市議会の日程

12月6日(火)	本会議(議案説明など)
12月12日(月)	本会議(一般質問)
12月13日(火)	建設委員会(議案審議)
12月14日(水)	産業委員会(議案審議)
12月15日(木)	文教厚生委員会(議案審議)
12月16日(金)	総務委員会(議案審議)
12月20日(火)	本会議

平成17年度第4回北茨城市議会定例会(12月議会)の会期日程は左記のとおりです。一般質問は12月12日の予定です。ご意見・要望を市議団までお寄せください。

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。  
<http://www.jcp-ktib.com/>  
編集部では身近な情報をお待ちしています。

## 医師確保について中間報告

臨時議会に先立って開かれた全員協議会で、市立病院の医師数についての報告がありました。11月1日現在の中間報告という形で、来年4月からの確保見込みが示されました。

「外科、小児科については、目標数を確保できた。内科については目標にとどかないが、現状は確保でき

そうである。整形外科、脳外科については、やはり困難な状況であり、いつその努力をしていく」とのことでした。

また議会の病院特別委員会からは、県知事への要請に続いて、国の関係機関、国会議員(県選出)への要請をおこなったことが報告されました。